

## 一般会計等 貸借対照表

(令和04年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	98,808,995,572	固定負債	17,597,606,980
有形固定資産	95,525,522,363	地方債	17,259,868,980
事業用資産	57,798,163,099	長期未払金	-
土地	27,882,923,241	退職手当引当金	337,738,000
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	49,768,141,750	その他	-
建物減価償却累計額	△ 21,570,013,548	流動負債	2,338,138,945
工作物	3,719,928,546	1年内償還予定地方債	1,816,535,013
工作物減価償却累計額	△ 2,091,184,430	未払金	-
船舶	7,820,796	未払費用	-
船舶減価償却累計額	△ 7,109,275	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	210,513,079
航空機	-	預り金	311,090,853
航空機減価償却累計額	-	その他	-
その他	-	負債合計	19,935,745,925
その他減価償却累計額	-	<b>【純資産の部】</b>	
建設仮勘定	87,656,019	固定資産等形成分	101,420,407,329
インフラ資産	36,269,306,265	余剰分(不足分)	△ 18,471,012,409
土地	9,062,648,757		
建物	547,613,732		
建物減価償却累計額	△ 283,095,720		
工作物	68,598,085,738		
工作物減価償却累計額	△ 41,829,907,311		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	173,961,069		
物品	6,706,885,474		
物品減価償却累計額	△ 5,248,832,475		
無形固定資産	74,192,931		
ソフトウェア	42,742,350		
その他	31,450,581		
投資その他の資産	3,209,280,278		
投資及び出資金	220,876,856		
有価証券	65,744,385		
出資金	155,132,471		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	232,209,792		
長期貸付金	12,679,600		
基金	2,753,794,704		
減債基金	-		
その他	2,753,794,704		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 10,280,674		
流動資産	4,076,145,273		
現金預金	1,244,651,584		
未収金	226,634,406		
短期貸付金	5,940,000		
基金	2,605,471,757		
財政調整基金	2,099,592,223		
減債基金	505,879,534		
棚卸資産	-		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 6,552,474		
資産合計	102,885,140,845	負債合計	19,935,745,925
		純資産合計	82,949,394,920
		負債及び純資産合計	102,885,140,845

## 一般会計等 行政コスト計算書

自 令和03年4月1日  
至 令和04年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	28,876,320,352
業務費用	11,791,183,272
人件費	4,109,952,032
職員給与費	3,243,909,791
賞与等引当金繰入額	210,513,079
退職手当引当金繰入額	-
その他	655,529,162
物件費等	7,170,418,829
物件費	3,986,416,449
維持補修費	199,900,907
減価償却費	2,984,101,473
その他	-
その他の業務費用	510,812,411
支払利息	115,969,946
徴収不能引当金繰入額	28,290,964
その他	366,551,501
移転費用	17,085,137,080
補助金等	7,841,359,202
社会保障給付	7,007,287,799
他会計への繰出金	2,234,862,327
その他	1,627,752
経常収益	581,446,825
使用料及び手数料	218,576,885
その他	362,869,940
純経常行政コスト	28,294,873,527
臨時損失	167,336,645
災害復旧事業費	-
資産除売却損	41,447,639
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	125,889,006
臨時利益	194,913,442
資産売却益	8,074,442
その他	186,839,000
純行政コスト	28,267,296,730

## 一般会計等 純資産変動計算書

自 令和03年4月1日

至 令和04年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	
		固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)
前年度末純資産残高	81,658,205,158	100,417,688,693	△ 18,759,483,535
純行政コスト(△)	△ 28,267,296,730		△ 28,267,296,730
財源	29,466,910,429		29,466,910,429
税収等	14,331,868,678		14,331,868,678
国県等補助金	15,135,041,751		15,135,041,751
本年度差額	1,199,613,699		1,199,613,699
固定資産等の変動(内部変動)		911,802,573	△ 911,802,573
有形固定資産等の増加		3,741,143,105	△ 3,741,143,105
有形固定資産等の減少		△ 3,134,357,101	3,134,357,101
貸付金・基金等の増加		1,306,916,186	△ 1,306,916,186
貸付金・基金等の減少		△ 1,001,899,617	1,001,899,617
資産評価差額	826,861	826,861	
無償所管換等	90,881,202	90,881,202	
その他	△ 132,000	△ 792,000	660,000
本年度純資産変動額	1,291,189,762	1,002,718,636	288,471,126
本年度末純資産残高	82,949,394,920	101,420,407,329	△ 18,471,012,409

## 一般会計等 資金収支計算書

自 令和03年4月1日

至 令和04年3月31日

(単位:円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	25,899,936,381
業務費用支出	8,814,799,301
人件費支出	4,108,486,798
物件費等支出	4,223,791,056
支払利息支出	115,969,946
その他の支出	366,551,501
移転費用支出	17,085,137,080
補助金等支出	7,841,359,202
社会保障給付支出	7,007,287,799
他会計への繰出支出	2,234,862,327
その他の支出	1,627,752
業務収入	27,173,073,161
税収等収入	13,895,272,596
国県等補助金収入	12,806,522,751
使用料及び手数料収入	221,608,345
その他の収入	249,669,469
臨時支出	-
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	-
臨時収入	-
<b>業務活動収支</b>	<b>1,273,136,780</b>
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	4,718,090,885
公共施設等整備費支出	3,595,460,974
基金積立金支出	1,108,830,911
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	13,799,000
その他の支出	-
投資活動収入	3,505,761,468
国県等補助金収入	2,328,519,000
基金取崩収入	640,773,987
貸付金元金回収収入	14,524,000
資産売却収入	76,538,481
その他の収入	445,406,000
<b>投資活動収支</b>	<b>△ 1,212,329,417</b>
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	1,778,070,650
地方債償還支出	1,778,070,650
その他の支出	-
財務活動収入	1,991,559,000
地方債発行収入	1,991,559,000
その他の収入	-
<b>財務活動収支</b>	<b>213,488,350</b>
<b>本年度資金収支額</b>	<b>274,295,713</b>
<b>前年度末資金残高</b>	<b>659,265,018</b>
<b>本年度末資金残高</b>	<b>933,560,731</b>
<b>前年度末歳計外現金残高</b>	<b>312,731,288</b>
<b>本年度歳計外現金増減額</b>	<b>△ 1,640,435</b>
<b>本年度末歳計外現金残高</b>	<b>311,090,853</b>
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>1,244,651,584</b>

## 全体貸借対照表

(令和04年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	124,075,677,792	固定負債	36,092,876,373
有形固定資産	118,382,020,640	地方債等	17,368,947,771
事業用資産	58,018,624,842	長期未払金	409,916,000
土地	28,043,169,128	退職手当引当金	387,341,885
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	49,803,657,580	その他	17,926,670,717
建物減価償却累計額	△ 21,580,096,662	流動負債	3,315,671,892
工作物	3,762,859,624	1年内償還予定地方債等	1,852,825,182
工作物減価償却累計額	△ 2,099,332,368	未払金	442,822,614
船舶	7,820,796	未払費用	-
船舶減価償却累計額	△ 7,109,275	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	236,925,459
航空機	-	預り金	347,933,495
航空機減価償却累計額	-	その他	435,165,142
その他	-		
その他減価償却累計額	-	負債合計	39,408,548,265
建設仮勘定	87,656,019	<b>【純資産の部】</b>	
インフラ資産	56,908,372,776	固定資産等形成分	126,687,089,549
土地	10,467,807,886	余剰分(不足分)	△ 35,279,787,772
建物	1,632,288,841	他団体出資等分	-
建物減価償却累計額	△ 552,431,159		
工作物	93,503,557,310		
工作物減価償却累計額	△ 48,658,503,553		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	515,653,451		
物品	10,524,456,691		
物品減価償却累計額	△ 7,069,433,669		
無形固定資産	79,828,751		
ソフトウェア	48,109,470		
その他	31,719,281		
投資その他の資産	5,613,828,401		
投資及び出資金	221,107,856		
有価証券	65,744,385		
出資金	155,363,471		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	466,946,703		
長期貸付金	1,410,088,000		
基金	3,539,748,842		
減債基金	-		
その他	3,539,748,842		
その他	-		
徴収不能引当金	△ 24,063,000		
流動資産	6,740,172,250		
現金預金	3,553,408,122		
未収金	527,561,615		
短期貸付金	5,940,000		
基金	2,605,471,757		
財政調整基金	2,099,592,223		
減債基金	505,879,534		
棚卸資産	6,891,440		
その他	53,791,733		
徴収不能引当金	△ 12,892,417		
繰延資産	-		
資産合計	130,815,850,042	純資産合計	91,407,301,777
		負債及び純資産合計	130,815,850,042

## 全体行政コスト計算書

自 令和03年4月1日  
至 令和04年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	41,952,430,546
業務費用	14,844,265,567
人件費	4,586,334,904
職員給与費	3,542,068,907
賞与等引当金繰入額	236,844,459
退職手当引当金繰入額	-
その他	807,421,538
物件費等	9,510,184,113
物件費	5,295,226,671
維持補修費	228,847,524
減価償却費	3,918,745,388
その他	67,364,530
その他の業務費用	747,746,550
支払利息	191,209,621
徴収不能引当金繰入額	58,737,053
その他	497,799,876
移転費用	27,108,164,979
補助金等	20,095,490,101
社会保障給付	7,009,519,234
その他	3,155,644
経常収益	2,337,980,127
使用料及び手数料	1,912,348,022
その他	425,632,105
純経常行政コスト	39,614,450,419
臨時損失	171,372,129
災害復旧事業費	-
資産除売却損	45,436,090
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	125,936,039
臨時利益	205,563,281
資産売却益	8,074,442
その他	197,488,839
純行政コスト	39,580,259,267

## 全体純資産変動計算書

自 令和03年4月1日

至 令和04年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産等形成分		
		固定資産等形成分	余剰分(不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	89,667,120,948	125,221,808,396	△ 35,554,687,448	-
純行政コスト(△)	△ 39,580,259,267		△ 39,580,259,267	
財源	41,178,842,789		41,178,842,789	-
税金等	18,190,707,550		18,190,707,550	
国県等補助金	22,988,135,239		22,988,135,239	
本年度差額	1,598,583,522		1,598,583,522	-
固定資産等の変動(内部変動)		1,399,365,090	△ 1,399,365,090	
有形固定資産等の増加		5,212,251,107	△ 5,212,251,107	
有形固定資産等の減少		△ 4,075,155,431	4,075,155,431	
貸付金・基金等の増加		1,492,982,472	△ 1,492,982,472	
貸付金・基金等の減少		△ 1,230,713,058	1,230,713,058	
資産評価差額	75,879,425	75,879,425		
無償所管換等	90,881,202	90,881,202		
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
その他	△ 25,163,320	△ 100,844,564	75,681,244	
本年度純資産変動額	1,740,180,829	1,465,281,153	274,899,676	-
本年度末純資産残高	91,407,301,777	126,687,089,549	△ 35,279,787,772	-

## 全体資金収支計算書

自 令和03年4月1日

至 令和04年3月31日

(単位:円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	37,986,372,255
業務費用支出	10,878,207,276
人件費支出	4,590,011,184
物件費等支出	5,599,194,557
支払利息支出	191,209,621
その他の支出	497,791,914
移転費用支出	27,108,164,979
補助金等支出	20,095,490,101
社会保障給付支出	7,009,519,234
その他の支出	3,155,644
業務収入	40,074,030,666
税収等収入	17,244,446,899
国県等補助金収入	20,659,616,239
使用料及び手数料収入	1,765,058,281
その他の収入	404,909,247
臨時支出	47,033
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	47,033
臨時収入	3,802,566
<b>業務活動収支</b>	<b>2,091,413,944</b>
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	6,054,541,229
公共施設等整備費支出	4,845,372,274
基金積立金支出	1,195,369,955
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	13,799,000
その他の支出	-
投資活動収入	4,574,393,805
国県等補助金収入	3,055,116,983
基金取崩収入	653,471,987
貸付金元金回収収入	14,807,800
資産売却収入	76,538,481
その他の収入	774,458,554
<b>投資活動収支</b>	<b>△ 1,480,147,424</b>
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	2,242,020,625
地方債等償還支出	1,815,292,671
その他の支出	426,727,954
財務活動収入	2,382,759,000
地方債等発行収入	2,382,759,000
その他の収入	-
<b>財務活動収支</b>	<b>140,738,375</b>
<b>本年度資金収支額</b>	<b>752,004,895</b>
<b>前年度末資金残高</b>	<b>2,490,312,374</b>
<b>本年度末資金残高</b>	<b>3,242,317,269</b>
<b>前年度末歳計外現金残高</b>	<b>312,731,288</b>
<b>本年度歳計外現金増減額</b>	<b>△ 1,640,435</b>
<b>本年度末歳計外現金残高</b>	<b>311,090,853</b>
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>3,553,408,122</b>

## 連結貸借対照表

(令和04年3月31日現在)

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
<b>【資産の部】</b>		<b>【負債の部】</b>	
固定資産	132,722,176,656	固定負債	38,944,760,889
有形固定資産	121,336,477,800	地方債等	18,019,984,327
事業用資産	60,959,673,915	長期未払金	414,636,791
土地	28,511,851,725	退職手当引当金	2,581,145,888
立木竹	-	損失補償等引当金	-
建物	60,568,555,632	その他	17,928,993,883
建物減価償却累計額	△ 30,179,218,443	流動負債	3,611,956,940
工作物	4,021,905,693	1年内償還予定地方債等	1,999,207,259
工作物減価償却累計額	△ 2,181,343,031	未払金	570,462,774
船舶	7,820,796	未払費用	9,263,062
船舶減価償却累計額	△ 7,109,275	前受金	-
浮標等	-	前受収益	-
浮標等減価償却累計額	-	賞与等引当金	244,606,517
航空機	-	預り金	350,520,023
航空機減価償却累計額	-	その他	437,897,305
その他	49,823,018		
その他減価償却累計額	△ 6,726,107	負債合計	42,556,717,829
建設仮勘定	174,113,907		
インフラ資産	56,908,372,776	<b>【純資産の部】</b>	
土地	10,467,807,886	固定資産等形成分	135,403,195,013
建物	1,632,288,841	余剰分(不足分)	△ 37,442,333,839
建物減価償却累計額	△ 552,431,159	他団体出資等分	1,000,000
工作物	93,503,557,310		
工作物減価償却累計額	△ 48,658,503,553		
その他	-		
その他減価償却累計額	-		
建設仮勘定	515,653,451		
物品	10,593,413,698		
物品減価償却累計額	△ 7,124,982,589		
無形固定資産	232,435,746		
ソフトウェア	53,849,981		
その他	178,585,765		
投資その他の資産	11,153,263,110		
投資及び出資金	211,122,444		
有価証券	65,758,973		
出資金	145,363,471		
その他	-		
投資損失引当金	-		
長期延滞債権	469,481,695		
長期貸付金	1,410,509,193		
基金	6,075,164,140		
減債基金	-		
その他	6,075,164,140		
その他	3,011,063,713		
徴収不能引当金	△ 24,078,075		
流動資産	7,796,402,347		
現金預金	4,055,269,577		
未収金	533,129,414		
短期貸付金	5,940,000		
基金	2,675,078,357		
財政調整基金	2,169,198,823		
減債基金	505,879,534		
棚卸資産	486,090,123		
その他	53,791,733		
徴収不能引当金	△ 12,896,857		
繰延資産	-		
		純資産合計	97,961,861,174
資産合計	140,518,579,003	負債及び純資産合計	140,518,579,003

## 連結行政コスト計算書

自 令和03年4月1日  
至 令和04年3月31日

(単位:円)

科目	金額
経常費用	46,813,901,547
業務費用	16,449,317,491
人件費	5,210,775,756
職員給与費	4,022,392,573
賞与等引当金繰入額	241,848,521
退職手当引当金繰入額	98,365,111
その他	848,169,551
物件費等	10,272,832,362
物件費	5,749,439,500
維持補修費	328,809,811
減価償却費	4,127,203,856
その他	67,379,195
その他の業務費用	965,709,373
支払利息	195,080,900
徴収不能引当金繰入額	58,756,568
その他	711,871,905
移転費用	30,364,584,056
補助金等	23,349,743,502
社会保障給付	7,009,592,626
その他	5,247,928
経常収益	2,545,825,107
使用料及び手数料	2,046,501,307
その他	499,323,800
純経常行政コスト	44,268,076,440
臨時損失	245,923,725
災害復旧事業費	-
資産除売却損	45,436,096
投資損失引当金繰入額	-
損失補償等引当金繰入額	-
その他	200,487,629
臨時利益	205,563,281
資産売却益	8,074,442
その他	197,488,839
純行政コスト	44,308,436,884

## 連結純資産変動計算書

自 令和03年4月1日

至 令和04年3月31日

(単位:円)

科目	合計	固定資産 等形成分	余剰分 (不足分)	他団体出資等分
前年度末純資産残高	96,218,502,917	133,638,708,405	△ 37,421,205,488	1,000,000
純行政コスト(△)	△ 44,308,436,884		△ 44,308,436,884	
財源	45,648,577,962		45,648,577,962	-
税金等	20,534,925,109		20,534,925,109	
国県等補助金	25,113,652,853		25,113,652,853	
本年度差額	1,340,141,078		1,340,141,078	-
固定資産等の変動(内部変動)		1,377,560,432	△ 1,377,560,432	
有形固定資産等の増加		5,253,360,205	△ 5,253,360,205	
有形固定資産等の減少		△ 4,268,748,539	4,268,748,539	
貸付金・基金等の増加		1,702,771,079	△ 1,702,771,079	
貸付金・基金等の減少		△ 1,309,822,313	1,309,822,313	
資産評価差額	75,879,425	75,879,425		
無償所管換等	90,881,202	90,881,202		
他団体出資等分の増加	-			-
他団体出資等分の減少	-			-
比例連結割合変更に伴う差額	196,081,870	340,814,689	△ 144,732,819	-
その他	40,374,682	△ 120,649,140	161,023,822	
本年度純資産変動額	1,743,358,257	1,764,486,608	△ 21,128,351	-
本年度末純資産残高	97,961,861,174	135,403,195,013	△ 37,442,333,839	1,000,000

## 連結資金収支計算書

自 令和03年4月1日

至 令和04年3月31日

(単位:円)

科目	金額
<b>【業務活動収支】</b>	
業務支出	42,541,690,789
業務費用支出	12,177,106,733
人件費支出	5,112,910,756
物件費等支出	6,160,797,102
支払利息支出	195,078,480
その他の支出	708,320,395
移転費用支出	30,364,584,056
補助金等支出	23,350,986,837
社会保障給付支出	7,009,592,626
その他の支出	4,004,593
業務収入	44,691,655,319
税込等収入	19,555,209,303
国県等補助金収入	22,700,844,157
使用料及び手数料収入	1,899,211,566
その他の収入	536,390,293
臨時支出	47,033
災害復旧事業費支出	-
その他の支出	47,033
臨時収入	3,802,566
<b>業務活動収支</b>	<b>2,153,720,063</b>
<b>【投資活動収支】</b>	
投資活動支出	6,595,622,380
公共施設等整備費支出	4,885,754,902
基金積立金支出	1,403,420,405
投資及び出資金支出	-
貸付金支出	13,799,000
その他の支出	292,648,073
投資活動収入	4,682,262,414
国県等補助金収入	3,076,699,181
基金取崩収入	805,296,398
貸付金元金回収収入	14,807,800
資産売却収入	11,000,481
その他の収入	774,458,554
<b>投資活動収支</b>	<b>△ 1,913,359,966</b>
<b>【財務活動収支】</b>	
財務活動支出	2,390,016,645
地方債等償還支出	1,959,971,057
その他の支出	430,045,588
財務活動収入	2,540,650,637
地方債等発行収入	2,392,837,261
その他の収入	147,813,376
<b>財務活動収支</b>	<b>150,633,992</b>
<b>本年度資金収支額</b>	<b>390,994,089</b>
<b>前年度末資金残高</b>	<b>3,340,572,674</b>
<b>比例連結割合変更に伴う差額</b>	<b>11,771,905</b>
<b>本年度末資金残高</b>	<b>3,743,338,668</b>
<b>前年度末歳計外現金残高</b>	<b>313,410,467</b>
<b>本年度歳計外現金増減額</b>	<b>△ 1,479,558</b>
<b>本年度末歳計外現金残高</b>	<b>311,930,909</b>
<b>本年度末現金預金残高</b>	<b>4,055,269,577</b>

# 一般会計等財務書類 注記

## 1. 重要な会計方針

### (1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

#### ① 有形固定資産・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

#### ② 無形固定資産・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

### (2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

#### ① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・取得原価

#### ② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

### (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

なし

### (4) 有形固定資産等の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年～50年

工作物 10年～80年

物品 2年～15年

#### ② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・定額法

（ソフトウェアについては、見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）

## 一般会計等財務書類 注記

③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

### (5) 引当金の計上基準及び算定方法

#### ① 投資損失引当金

なし

#### ② 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去5年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

#### ③ 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。

#### ④ 損失補償等引当金

なし

#### ⑤ 賞与等引当金

翌年度の6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

### (6) リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

### (7) 資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

### (8) その他財務書類作成のための基本となる重要な事項

#### ① 出納整理期間

当会計年度に係る出納整理期間（令和4年4月1日～5月31日）の現金出納に関する取引を当会計年度の取引に含めています。

#### ② 消費税及び地方消費税の会計処理

税込方式によっています。

## 一般会計等財務書類 注記

### ③ 物品及びソフトウェアの計上基準

物品については、取得価額又は見積価格が50万円（美術品は300万円）以上の場合に資産として計上しています。ソフトウェアについても、原則として物品の取扱いに準じています。

### ④ 資本的支出と修繕費の区分基準

資本的支出と修繕費の区分基準については、原則として金額が60万円未満であるときに、修繕費として処理しています。ただし、実施した工事の性質により、原状回復と判断された工事については金額によらず修繕費として処理しています。

## 2. 重要な会計方針の変更等

### (1) 会計方針の変更

なし

### (2) 表示方法の変更

なし

### (3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

## 3. 重要な後発事象

### (1) 主要な業務の改廃

なし

### (2) 組織・機構の大幅な変更

なし

### (3) 地方財政制度の大幅な改正

なし

### (4) 重大な災害等の発生

なし

## 4. 偶発債務

### (1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

### (2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

### (3) その他主要な偶発債務

なし

## 5. 追加情報

# 一般会計等財務書類 注記

## (1) 財務書類の内容を理解するために必要と認められる事項

①一般会計等財務書類の対象範囲は次の通りです。

一般会計

人材育成事業特別会計

②地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

③表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

④地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率の状況

実質赤字比率	-
連結実質赤字比率	-
実質公債費比率	8.4 %
将来負担比率	26.5 %

⑤利子補給等に係る債務負担行為の翌年度以降の支出予定額  
なし

⑥過年度修正等に関する事項  
なし

## (2) 貸借対照表に係る事項

①売却可能資産の範囲及び内訳

ア 範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

イ 内訳

事業用資産	0千円 ( 0千円)
インフラ資産	0千円 ( 0千円)
物品	0千円 ( 0千円)

令和4年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。

②地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく将来負担比率の算定要素

標準財政規模	13,689,764 千円
元利償還金・準元利償還金に係る基準財政需要額算入額	1,284,532 千円
将来負担額	23,031,251 千円
充当可能基金額	5,356,444 千円
特定財源見込額	661,819 千円
地方債現在高等に係る基準財政需要額算入額	13,719,712 千円

# 一般会計等財務書類 注記

## (3) 行政コスト計算書に係る事項

なし

## (4) 純資産変動計算書に係る事項

### ①固定資産形成分

固定資産の額に流動資産における短期貸付金及び基金等を加えた額を計上しています。

### ②余剰分（不足分）

純資産合計額のうち、固定資産等形成分を差し引いた金額を計上しています。

## (5) 資金収支計算書に係る事項

### ①基礎的財政収支

644,834 千円

### ②既存の決算情報との関連性

	収入（歳入）	支出（歳出）
歳入歳出決算書	32,848,239千円	31,928,658千円
財務書類の対象となる会計の範囲に伴う差額	31,420千円	17,440千円
繰越金のうち前年度歳入歳出差引額に伴う差額	△659,265千円	0千円
繰越金のうち歳計剰余金処分による基金積立に伴う差額	450,000千円	450,000千円
翌年度繰上げ充用金に伴う差額	0千円	0千円
相殺消去に伴う差額	0千円	0千円
資金収支計算書	32,670,394千円	32,396,098千円

地方自治法第233条第1項に基づく歳入歳出決算書は「一般会計」を対象範囲としているのに対し、資金収支計算書は「一般会計等」を対象としているため、歳入歳出決算書と資金収支計算書は一部の特別会計の分だけ相違します。

歳入歳出決算書では繰越金を収入として計上しますが、公会計では計上しないため、その分だけ相違します。

### ③資金収支計算書の業務活動収支と純資産変動計算書の本年度差額との差額の内訳

#### 資金収支計算書

業務活動収支	1,273,137千円
投資活動収入の国県等補助金収入	2,328,519千円
未収債権、未払債務等の増加（減少）	854,237千円
減価償却費	△2,984,101千円
賞与等引当金繰入額	△210,513千円
退職手当引当金繰入額	0千円
徴収不能引当金繰入額	△28,291千円
資産除売却益（損）	△33,374千円

## 一般会計等財務書類 注記

純資産変動計算書の本年度差額

1,199,614千円

### ④重要な非資金取引

なし

# 全体財務書類 注記

## 1. 重要な会計方針

### (1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

#### ① 有形固定資産・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

##### ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

##### イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・・・・・・再調達原価

ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

#### ② 無形固定資産・・・・・・・・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・・・・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・・・・・・再調達原価

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

### (2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

#### ① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・取得原価

#### ② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・・・・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・・・・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

### (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

連結対象団体が採用する会計基準による

### (4) 有形固定資産等の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年～50年

工作物 10年～80年

物品 2年～15年

法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

## 全体財務書類 注記

- ② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・定額法  
（ソフトウェアについては、見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）  
法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。
- ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引  
及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除き  
ます。）  
・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法  
法適用会計については、各会計の基準に従って作成しています。

### （5）引当金の計上基準及び算定方法

- ① 投資損失引当金  
なし
- ② 徴収不能引当金  
未収金ならびに徴収不能引当金については、過去5年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。
- ③ 退職手当引当金  
退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。
- ④ 損失補償等引当金  
なし
- ⑤ 賞与等引当金  
翌年度の6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

### （6）リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

### （7）資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）  
なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

### （8）消費税及び地方消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

## 全体財務書類 注記

ただし、一部の会計については、税抜方式によっています。

### 2. 重要な会計方針の変更等

#### (1) 会計方針の変更

なし

#### (2) 表示方法の変更

なし

#### (3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

### 3. 重要な後発事象

#### (1) 主要な業務の改廃

なし

#### (2) 組織・機構の大幅な変更

なし

#### (3) 地方財政制度の大幅な改正

なし

#### (4) 重大な災害等の発生

なし

### 4. 偶発債務

#### (1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

#### (2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

#### (3) その他主要な偶発債務

なし

### 5. 追加情報

#### (1) 全体財務書類の対象範囲

全体財務書類の対象範囲については、一般会計等財務書類の対象範囲に下記会計を含みます。

団体名	連結方法	比例連結割合
水道事業会計	全部連結	-
下水道事業会計	全部連結	-
糸満漁港ふれあい公園事業特別会計	全部連結	-
土地区画整理事業特別会計	全部連結	-
国民健康保険事業特別会計	全部連結	-

## 全体財務書類 注記

介護保険事業特別会計	全部連結	-
後期高齢者医療特別会計	全部連結	-

### (2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている会計においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

### (3) 表示単位未満の取扱い

表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

### (4) 売却可能資産の範囲及び内訳

#### ア 範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

#### イ 内訳

事業用資産	0千円 ( 0千円)
インフラ資産	0千円 ( 0千円)
物品	0千円 ( 0千円)

令和4年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。

# 連結財務書類 注記

## 1. 重要な会計方針

### (1) 有形固定資産等の評価基準及び評価方法

#### ① 有形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

##### ア 昭和59年度以前に取得したもの・・・再調達原価

ただし、道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

##### イ 昭和60年度以降に取得したもの

取得原価が判明しているもの・・・取得原価

取得原価が判明していないもの・・・再調達原価

ただし、取得価額が不明な道路、河川及び水路の敷地は備忘価額1円としています。

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

#### ② 無形固定資産・・・取得原価

ただし、開始時の評価基準及び評価方法については、次のとおりです。

取得原価が判明しているもの・・・取得原価

取得原価が不明なもの・・・再調達原価

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

### (2) 有価証券等の評価基準及び評価方法

#### ① 有価証券

ア 市場価格のあるもの・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・取得原価

#### ② 出資金

ア 市場価格のあるもの・・・財務書類作成基準日における市場価格

イ 市場価格のないもの・・・出資金額

ただし、市場価格のないものについて、出資先の財政状況の悪化により出資金の価値が著しく低下した場合には、相当の減額を行うこととしております。なお、出資金の価値の低下割合が30%以上である場合には、「著しく低下した場合」に該当するものとしています。

### (3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

#### ① 原材料、商品等・・・連結対象団体が採用する会計基準による

#### ② 販売用土地・・・地方公共団体の財政の健全化に関する法律施行規則第4条第2項各号に掲げる方法

### (4) 有形固定資産等の減価償却の方法

#### ① 有形固定資産（リース資産を除く）・・・定額法

なお、主な耐用年数は以下の通りです。

建物 14年～50年

工作物 10年～80年

物品 2年～15年

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

## 連結財務書類 注記

### ② 無形固定資産（リース資産を除く）・・・・・・・・・・定額法

（ソフトウェアについては、見込利用期間（5年）に基づく定額法によっています。）

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

### ③ 所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産（リース期間が1年以内のリース取引及びリース契約1件あたりのリース料総額が300万円以下のファイナンス・リース取引を除きます。）

・・・・・・・・・・自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法

法適用会計、地方三公社、第三セクター等については、各会計・団体の基準に従って作成しています。

## （5）引当金の計上基準及び算定方法

### ① 徴収不能引当金

未収金ならびに徴収不能引当金については、過去5年間の平均不能欠損率により、徴収不能見込み額を計上しています。

### ② 退職手当引当金

退職手当債務から組合への加入時以降の負担金の累計額から既に職員に対し退職手当として支給された額の総額を控除した額に、組合における積立金額の運用益のうちの持分相当額を加算した額を控除した額を計上しています。

### ③ 損失補償等引当金

なし

### ④ 賞与等引当金

翌年度の6月支給予定の期末手当及び勤勉手当並びにそれらに係る法定福利費相当額の見込額について、それぞれ本会計年度の期間に対応する部分を計上しています。

## （6）リース取引の処理方法

ファイナンス・リース取引については、1件当たりの契約額が300万円以上であり、かつ契約終了後に所有権が移転する場合に限り、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理を行っています。

## （7）資金収支計算書における資金の範囲

現金（手許現金及び要求払預金）及び現金同等物（容易に換金可能であり、かつ、価値変動が僅少なもので、流動性の高い投資をいいます。ただし、一般会計等においては、糸満市資金管理方針において、歳計現金等の保管方法として規定した預金等をいいます。）

なお、現金及び現金同等物には、出納整理期間における取引により発生する資金の受け払いを含んでいます。

## （8）消費税及び地方消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

ただし、一部の会計については、税抜方式によっています。

## 2. 重要な会計方針の変更等

### （1）会計方針の変更

## 連結財務書類 注記

なし

### (2) 表示方法の変更

なし

### (3) 資金収支計算書における資金の範囲の変更

なし

## 3. 重要な後発事象

### (1) 主要な業務の改廃

なし

### (2) 組織・機構の大幅な変更

なし

### (3) 地方財政制度の大幅な改正

なし

### (4) 重大な災害等の発生

なし

## 4. 偶発債務

### (1) 保証債務及び損失補償債務負担の状況

なし

### (2) 係争中の訴訟等で損害賠償等の請求を受けているもの

なし

### (3) その他主要な偶発債務

なし

## 5. 追加情報

### (1) 連結財務書類の対象範囲

連結財務書類の対象範囲については、全体財務書類の対象範囲に下記の団体（会計）を含みます。

団体名	連結方法
南部広域市町村圏事務組合（一般会計）	比例連結
南部広域市町村圏事務組合（南斎場）	比例連結
沖縄県後期高齢者医療広域連合	比例連結
沖縄県市町村総合事務組合	比例連結
沖縄県自治会館管理組合	比例連結
南部広域行政組合	比例連結
糸満市土地開発公社	全部連結
糸満市社会福祉協議会	全部連結

連結の方法は次のとおりです。

## 連結財務書類 注記

- ①一部事務組合・広域連合は、各構成団体の経費負担割合等に基づき比例連結対象としています。
- ②地方独立行政法人は、全て全部連結の対象としています。
- ③地方三公社は、全て全部連結の対象としています
- ④第三セクター等は、出資割合が50%を超える団体（出資割合等が50%以下であっても業務運営に実質的に主導的な立場を確保している団体は含みます。）は、全部連結の対象としています。

### (2) 出納整理期間

地方自治法第235条の5に基づき出納整理期間が設けられている団体（会計）においては、出納整理期間における現金の受け払い等を終了した後の計数をもって会計年度末の計数としています。

### (3) 表示単位未満の取扱い

表示単位未満の金額は四捨五入することとしておりますが、四捨五入により合計金額が一致しない場合があります。

### (4) 売却可能資産の範囲及び内訳

#### ア 範囲

個別の固定資産について、売却可能性を検討した上で決定しています。

#### イ 内訳

事業用資産	0千円（ 0千円）
インフラ資産	0千円（ 0千円）
物品	0千円（ 0千円）

令和4年3月31日時点における売却可能価額を記載しています。

また、括弧内の金額は貸借対照表における簿価を記載しています。